

熊本市川尻校区第7町内自治会ハザードマップ(防災地図)

令和4年(2022年)6月作成



《凡例》

- 市指定緊急避難場所
 地域指定一時避難場所
- 防火水槽
 消防水防倉庫
 消火栓
- 河川・水路
 冠水しやすい箇所
- 国・県道または主要道路
 行き止まりまたは狭い道路
- 生活用井戸
 AED 設置施設

緊急連絡先

熊本市危機管理防災総室	096-328-2490
熊本市南区役所	096-357-4111
熊本市南部まちづくりセンター	096-358-1877
川尻出張所(南消防署)	096-357-0646
川尻交番(南警察署)	096-357-9552
消防への通報(火災、救急等)	119
警察への通報(事件、事故等)	110
※	
※	
※	

※必要な緊急連絡先をご記入ください。



⑦消防小屋・防火水槽



⑥外城公園へ



熊本市
ハザードマップ
はこちら



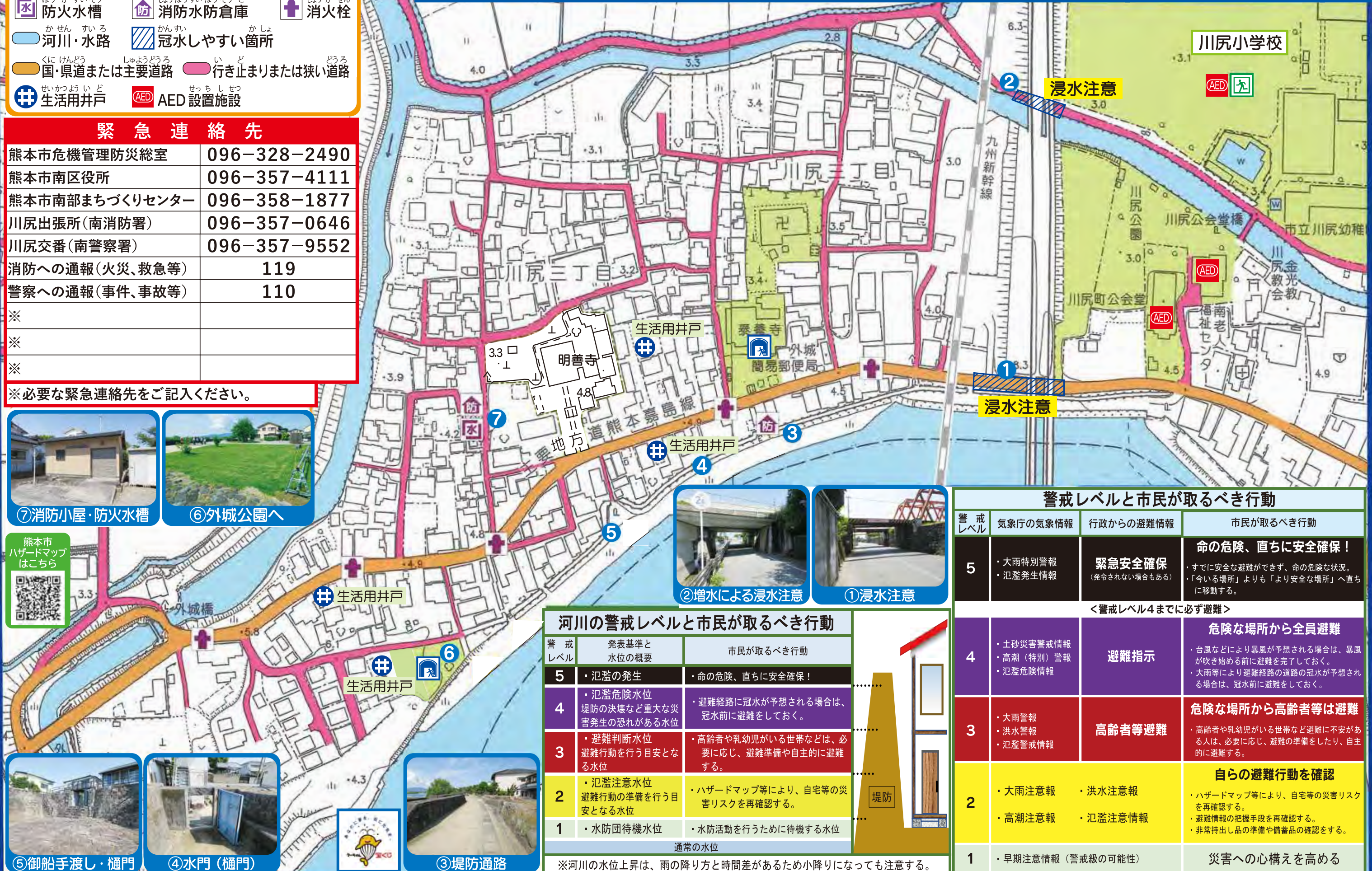
⑤御船手渡し・樋門



④水門(樋門)



③堤防通路



警戒レベルと市民が取るべき行動

警戒レベル	気象庁の気象情報	行政からの避難情報	市民が取るべき行動
5	・大雨特別警報 ・氾濫発生情報	緊急安全確保 (発令されない場合もある)	命の危険、直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命の危険な状況。 ・「今いる場所」よりも「より安全な場所」へ直ちに移動する。
＜警戒レベル4までに必ず避難＞			
4	・土砂災害警戒情報 ・高潮(特別)警報 ・氾濫危険情報	避難指示	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。 ・大雨等により避難経路の道路の冠水が予想される場合は、冠水前に避難をしておく。
3	・大雨警報 ・洪水警報 ・氾濫警戒情報	高齢者等避難	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者や乳幼児がいる世帯など避難に不安がある人は、必要に応じ、避難の準備をしたり、自主的に避難する。
2	・大雨注意報 ・高潮注意報 ・洪水注意報 ・氾濫注意情報		自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認する。 ・避難情報の把握手段を再確認する。 ・非常持出し品の準備や備蓄品の確認をする。
1	・早期注意情報(警戒級の可能性)		災害への心構えを高める

河川の警戒レベルと市民が取るべき行動

警戒レベル	発表基準と水位の概要	市民が取るべき行動
5	・氾濫の発生	・命の危険、直ちに安全確保！
4	・氾濫危険水位 堤防の決壊など重大な災害発生の恐れがある水位	・避難経路に冠水が予想される場合は、冠水前に避難をしておく。
3	・避難判断水位 避難行動を行う目安となる水位	・高齢者や乳幼児がいる世帯などは、必要に応じ、避難準備や自主的に避難する。
2	・氾濫注意水位 避難行動の準備を行う目安となる水位	・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認する。
1	・水防団待機水位	・水防活動を行うために待機する水位

通常の水位

※河川の水位上昇は、雨の降り方と時間差があるため小降りになっても注意する。

堤防